

のびるよ そだつよ

国立市立国立第五小学校 研究便り

校長 向井 美紀

NO. 5 令和4年2月16日

(編集：国立第五小学校 研究部)

この「のびるよ そだつよ」は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をホームページ上でお知らせしていきます。

4年1組 国語「調べて話そう、生活調査隊」1月27日(水)

4年生は、「すてきな高学年」とはどんな姿かを考えていく中で、自分たちの生活をどのように変えていく必要があるかを考え、話し合いを行いました。

グループごとに「宿題はいつやっているか?」「睡眠時間について」「朝起きてから学校へ行くまでにどのくらい時間がかかっているか」など、日頃の生活の中で気になることについてタブレットを使ってアンケートを行いました。



アンケート結果から、時間を有効活用できている友達がいることに気づき、クラス全体へ向け、よりよい生活についての提案を行っていきます。

アンケート結果から分かることを付箋に書き出し、少数派の意見や気づきを大切にしながら話し合いを進めることができました。

4年生の生活も残りわずかになりました。この学習を活かし、すてきな高学年として活躍してくれることと信じています。



1年4組 国語「どうぶつの赤ちゃん」2月9日(水)

1年生は、説明文「どうぶつの赤ちゃん」でライオンやしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子や大きくなっていく様子を教科書に沿って読み取る活動をしました。その後、二つの動物を比べながら、自分が分かったことや考えたことを書き、それを友達に伝える活動に取り組みました。学習の最後には、自分が選んだ動物について資料から読み取ったことを『どうぶつの赤ちゃんずかん』にまとめます。

本時の授業では、ライオンとしまうまの赤ちゃんがどのように

成長をしていくか、「観点カード」を並べ替えて確認した後、「ライオンとしまうまの赤ちゃんでは、どちらが強いと思うか。」という問いに理由を見付けながら自分の考えを書きました。なんとなく違いを感じていた児童も、観点で比べて考えることや、実物大の赤ちゃんの掲示物を見たり、それを抱える真似をしたりすることを通して、二つの赤ちゃんの違いを意識して読むことができるようになりました。また、友達のと比べながら聞くことで、自分の考えとの共通点や相違点に気付くことができました。



